

第6回（2023 年度）「医療経営に関する研究助成」

（指定課題研究）申請書 記入要領

1. 申請書

本協会ホームページから所定の申請書 (<http://www.jmmpa.jp/>に掲載) をダウンロードして必要事項をワード形式または黒のボールペンで記入すること（署名部分は必ず直筆）。申請書はスキャンし、PDF 化したファイルをアップロードし事務局まで申請すること。

2. 申請者

- (1) 「氏名」欄には、研究代表者が直筆で署名すること。
- (2) 申請者が「医療経営士」（会員）である場合は、〔 〕内に必ず認定登録番号（14 桁）を記入すること。
- (3) 「所属機関」欄には、主たる所属先を1か所記入すること。

3. 連絡責任者

- (1) 本協会「研究助成事務局」と連絡を取る者の連絡先、郵送先、メールアドレスを記入すること。
- (2) 「氏名」欄には、連絡責任者が直筆で署名すること。
- (3) 研究代表者との関係を記入し、申請者本人の場合は、「同上」と記入すること。

4. 助成申請金額

- (1) 「D. 助成金使途内訳」の合計金額と一致する申請金額を記入すること。
- (2) 「助成申請金額」と「研究総額」が異なる場合は、併せて研究総額を記入し、その理由を「B. 研究計画・方法及び特色」に明記すること。

5. 研究形態

個人研究の場合は「個人」、共同研究の場合は「共同」を○で囲み、共同研究者の人数を明記すること。

6. 「A. 研究テーマの背景・目的」（以下を参考に1ページ以内で具体的に記述すること）

- ・なぜ本テーマに興味を持ったのか（動機）
- ・本テーマにどのような理論的興味や関心があるのか
- ・本テーマにおける論点は何か。また、本テーマはどのような点で重要なのか
- ・何を問題にして、何を明らかにしようとしているのか（目的）

7. 「B. 研究計画・方法及び特色」（以下を参考に1ページ以内で具体的に記述すること）

- ・スケジュール、計画、ロードマップ（工程表）等 ※時系列が分かる形で記述または図示
- ・共同研究者がいる場合は、その役割
- ・研究テーマに関する既存の研究はどのようになっているのか
- ・どのような方法で研究するのか

- ・その方法がなぜ優れているのか
- ・既存の研究をどのように評価するのか
- ・既存の研究にはどのような問題点があるのか
- ・その方法で問題を解決できる見通しはあるのか

8. 「C. 期待・予想される成果・意義、発表計画・発信方法、継続性」(以下を参考に1ページ以内で具体的に記述すること)

- ・研究を通じて何が明らかにできるのか
- ・研究成果のポイントと意義・独創性
- ・どのように発表を行うのか(発表計画、発信方法)
- ・今後における研究の継続性はあるのか

9. 「D. 助成金使途内訳」

- ・謝金、作業費、旅費交通費等の費目に区分し、主な費目の目的、使途、単価、人数(回数)等について記入すること
- ・応募要項(PDF)の14.「研究助成金の費目一覧」および15.「助成金からの使用不可」を踏まえて記入すること
- ・委託費や高額な旅費交通費については、その必要性の根拠を詳述すること
- ・採択後に申請書の助成金使途内訳と異なる支出は不可とする
- ・合計金額は助成申請金額と一致すること

10. 「E. 申請者の自己紹介・経歴」

- ・現在、どのように医療経営に関わっているのか等をなるべく詳しく記述すること
- ・これまで自身が関わった代表的な研究の成果(論文、報告書等)があれば記入すること

11. 「F. 類似テーマでの他機関・団体への助成申請の有無」

- ・他機関・他団体への重複申請は必ず記入すること
- ・類似テーマで他機関・他団体からすでに助成金を受けている研究は申請を不可とする
- ・他機関・他団体への申請中に本協会の助成金交付が決定した場合、他機関・他団体の申請辞退が交付条件となる(本協会への申請中に他機関・他団体から助成金を受理した場合、本協会への申請は却下とする)

12. 「G. 共同研究者」

- ・各「氏名欄」には、本研究助成に参加する共同研究者が直筆で署名すること
- ・共同研究者で医療経営士の者は、必ず〔 〕内に認定登録番号(14桁)を記入すること
- ・共同研究者は、5名以内とする

13. 「その他」

- ・倫理審査が必要な研究内容については、あらかじめ組織内外の倫理審査委員会等に諮っておくこと。

以上